

地域の公共施設の未来を考えるワークショップ第2回

高津区 | 開催結果まとめ

開催概要

○実施日時・場所

・ 2024 年 3 月 2 日（土） 14:00～17:00

○場所

・ 高津区役所 5階 第1・第2会議室

○参加人数

・ 参加者 21 名（事前申込 44 名、欠席者 23 名）

○アンケート回答者数

・ 21 名（100%）



結果の概要

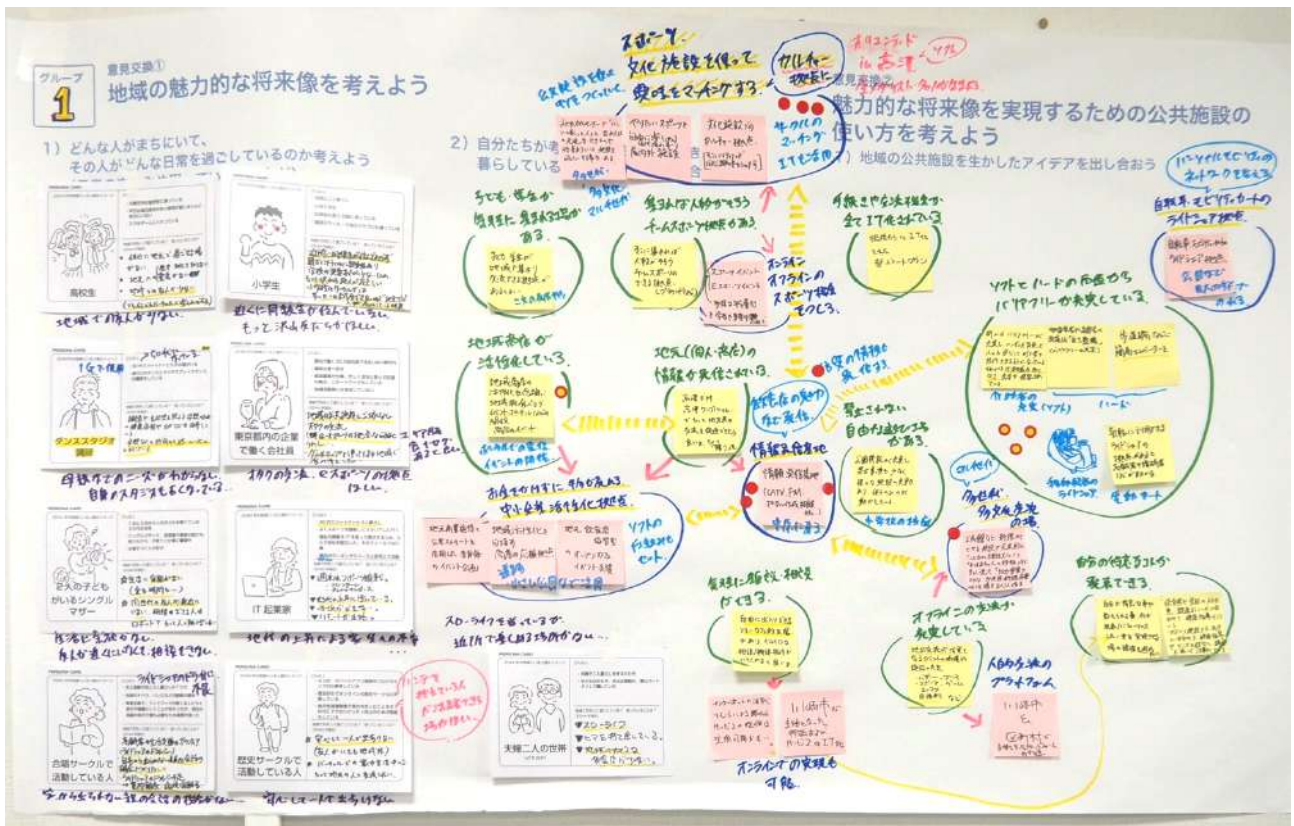
グループ	グループのまとめ
1G	パーソナルモビリティのライドシェア拠点 ・公園など家の近くからパーソナルモビリティにアクセスすることができ、ネットワーク化を図る。バリアフリーと移動を充実させる。 地域特化型「情報発信基地」 ・地域密着型のミニ FM、ストリーミング TV など情報発信基地として活用する。楽しい・おいしい・防災・防犯の情報を発信し、地域を盛り上げる。 「オリエンテッド in 高津」マルチ世代によるスポーツ・カルチャーの交流拠点 ・マルチ世代交流の場とする。興味や、趣味で利用者同士をマッチングし、何かをやりたい人が集まり、繋がれる場づくりを行う。
2G	徒歩で行ける施設を様々な世代が使うようにする ・老人がこ文や小学校などを使う。 ・働き世代がリモートワークにも使う 安価な入居費でスタートアップ企業向け団地を ・施設の保全、管理はしっかりする。地域のお年寄りが仕事として活躍できる場にする。 ・小中学校等の施設はきっと余ってくる 地域内の交流イベントに対して公共施設の貸出や補助をする ・地域のつながりづくりや、老人の外出機会の創出で健康寿命をのばす
3G	人と出会ったり交流したり出来る場「大山街道ふるさと館」を人が行きたくなる拠点に ・宿場体験、楽しく歴史を学べる交流の場として活用 夢パークを文化・スポーツ・教養の中心拠点にし、近隣小学校とリンクさせ、多世代が活用できるように工夫する 図書館を単身者、働き世代が使える、喫茶付きコワーキングスペースに ・高津図書館、小黑恵子童謡記念館などの公共施設で働き世代向けのサービスを充実させる 小規模でも、支援が必要な子どものケアサービスは無くさない ・支援学校と福祉サービスの連携強化によりこどもから大人までケアを行き届かせたい
4G	高齢者や障害のある方も働けるしくみをつくり、空き家の活用も行う ・障がいのある方の働く場にもなる ・人を紹介するサービス（行政が担う） ・インフラ整備にもなる ・企業と連携し、働く場を創出する ・事業として展開できるのではないかな 区役所が複合施設になるとよい ・図書館と統合する ・多目的化をする ・飲食できる場所になるとよい ・人の集う場所になる 歩道が広く、安心して歩けるまち ・車いす、ベビーカーでも歩きやすい ・学校のなかのバリアフリー化が進むとよい ・屋根がある歩道ができると車いすの方も濡れずに歩行できる ・外出したくなるまちになる

5G	まちの多世代・多属性コミュニケーションを大切にしよう。既存の空きスペース（学校、公園、空き店舗）を有効に活用して、家庭菜園や廃材クラフトなどのリアル体験を通してコミュニケーションをとる ダンス・BMX 等の高津で売り出し中のものを中心に、様々なジャンル（音大・部活動等）同士でコラボしながら、子どもたちへの教育、育成を進めて聖地化しよう MADE in 高津を目指して、コミュニケーションから派生したブランド・情報発信・ビジネスへつなげよう。拠点は多機能で、子どもが運営に関わることができる すべての基本として「安全」で災害に強い公共施設とまちづくりにする ・ 普段から通っている場所が避難所になる ・ 民間のスペースを使う場合は基準を設ける
----	--



当日のホワイトボード

■ 1 グループ



意見交換① 地域の魅力的な将来像を考えよう

1) 20年後、どんな人がまちにいて、その人がどんな日常を過ごしているのか考えよう（日常の楽しみや困っていることなど）

黄塗りは高津区固有ペルソナ

ペルソナ 1	ペルソナ 2	ペルソナ 3
高校生 ・ 休日に地元で過ごせる場がない ・ 地元への（歴史・文化を知らない、愛着がない） ・ 地域での友人が少ない（でもなんでもバーチャルで楽しんでそう）	小学生 ・ 近所に小学生が住んでおらず、遊びに行くのに距離あり ・ 学校の児童数が少ないためもっとたくさんの友人が欲しい ・ 小学校のサークルではサッカーの試合ができないので地元クラブへの参加している現実	ダンススタジオ講師 ・ 高齢者や乳幼児を控える母親のための健康体操やヨガなどを指導している ・ 母親などの時間のとり方、ニーズに戸惑っている ・ 自身のスタジオもよくなっている
ペルソナ 4	ペルソナ 5	ペルソナ 6
東京都内の企業で働く会社員 ・ 地域の公共施設とご縁なし ・ オタク交流（e スポーツの拠点などあるとうれしい）	2人の子どもがいるシングルマザー ・ 生活に余裕がない（金も時間も…） ・ 同世代の友人が身近にいない	IT 起業家 ・ 週末はスポーツ観戦（フロンターレ・ブレイブサンダーズ） ・ 地代の上昇による家賃への不安

・グルメマップを使って休日地域で 食べ歩きしたい	・相談できる人がロボット？もっと ふれあい長い ・友人が近くにいないと相談できな い	・子供ができない ・リモートが主体
ペルソナ 7	ペルソナ 8	ペルソナ 9
合唱サークルで活動している人 ・ライドシェアのドライバー不足 →買物難民、通院困難等 ・高齢者の生活支援のボランティア (ライドシェアのドライバー) ・自宅から出られない親の会話の機 会をつくりたい	歴史サークルで活動している人 ・安心して一人で出歩けない(友人 がいても地域外 ・バーチャルでの家中生活中心 ・もっと地元の人と交流したい ・ハンデを抱えている人が活躍でき る場が欲しい	夫婦二人の世帯 ・スローライフ ・ヒマを持て余している ・地域にナイスな飲食店が少な い ・

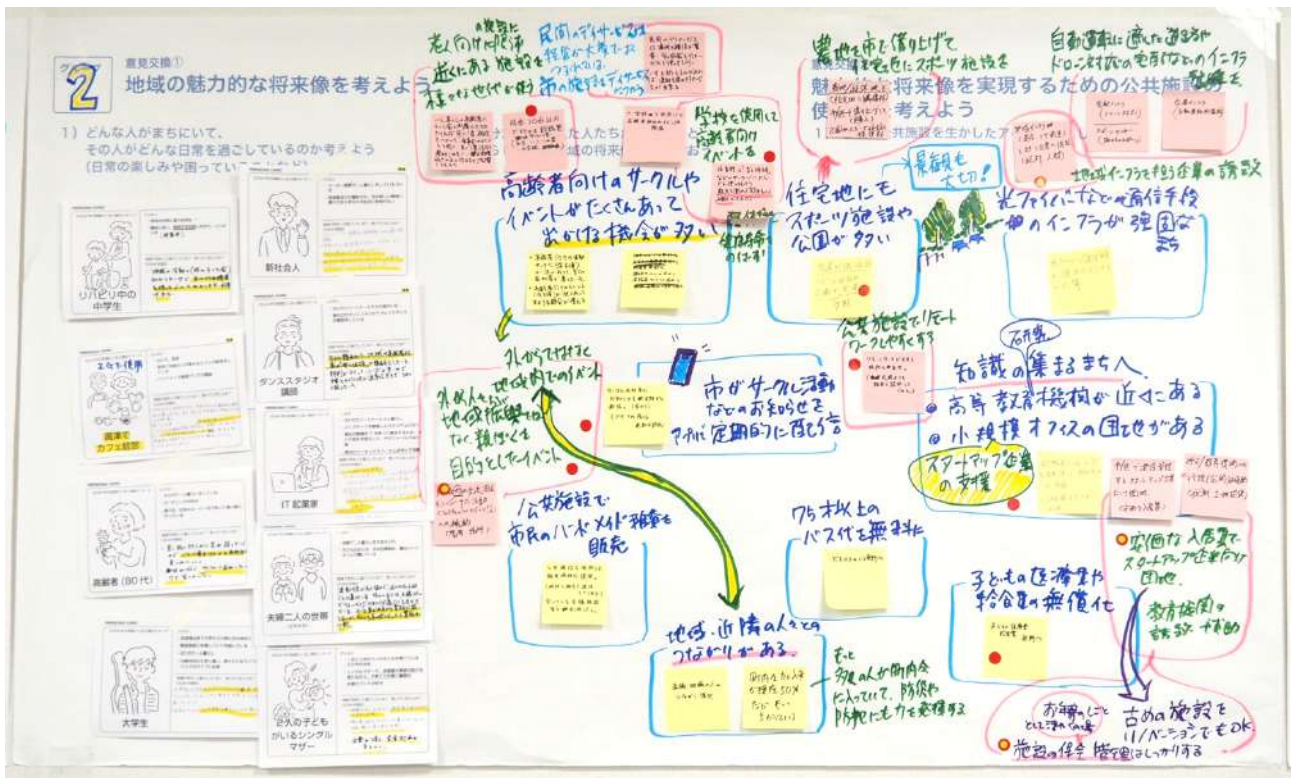
1人3票で共感できる意見にシール投票 (◎一押しシールの数 ●その他のシールの数)

2) 自分たちの考えた人たちがいきいきと暮らしている 20 年後の地域の将来像を出し合おう	意見交換② 魅力的な将来像を実現するための 公共施設の使い方アイデア
●子ども、学生が気軽に集まれる場がある ・子ども、学生が地域で集まり、交流できる拠点があるとよい ・此文の発展形 ●集まれば人数が揃う、チームスポーツの拠点がある ・そこに集まれば人数が揃うチームスポーツのできる拠点(グラウンドなど)	●オンライン、オフラインのスポーツ機会をつくる ・スポーツイベント、Eスポーツイベント、多様な年齢層別を学校や多摩川周辺で ●スポーツ、文化施設を使って興味をマッチングし、カルチャー拠点にする (●3) ・子ども文化センターで「いこいの家」の人々と昔遊びの交流ができる。将来的には複数の施設を同じにする事もある ・やりたいスポーツを自由に楽しめる(年代問わず)屋内外施設 ・文化施設でのカルチャー拠点(サークルのマッチングなど、そこに行けば同じ興味をシェア可) ・公共施設を使ってマルチ世代交流の基礎をつくっていく ・ITも活用して、人をマッチングする ・「オリエンテッド in 高津」金メダリストや名人が生まれる
●地域商店が活性化している (◎1) ・地域商店の活性化も念頭に、地域版食べログ、イベントポータルなどの開設 ・商店のイベント ・ポータルでの発信 ・イベントの開催 ●地元(個人・商店)の情報が発信されている ・高津 FM、高津ケーブルなど、でもっと地元民の交流を促進できたら良い。もっと「祭り」を	●お金をかけずにものが売れる、中小企業活性化拠点 ・地元商業施設と公共ストリートを活用した季節毎のイベント企画 ・地域活性化を目指す商店の応援拠点。道路、小さい公園など活用 ・地元飲食店協賛型のオープンカフェイベント支援 ・ソフトの仕組みもセット ●飲食店の魅力や防災の情報などを発信する情報発信基地 (●4)

	・情報発信基地（CATV、FM、ポータルサイト作成相談など） ・中原にある
●ソフトとハードの両面からバリアフリーが充実している（◎3） ・街にはバリアフリーが充実し、ハンディを背負った人々も安心して町を歩き訪問できるようになっている。それには、介助者も多くなり、生活も保証されている（介助者の充実＝ソフト） ・非健常者や高齢者に配慮した「まち整備」（バリアフリーの充実）（ハード） ・歩道橋などに簡易エレベーターを（ハード） ・気軽に利用できるライドシェアの拠点があると高齢者や障がい者などが助かる ・電動カートなど移動弱者のライドシェア	●自転車、モビリティカートのライドシェア拠点 ・自転車、モビリティカートのライドシェア拠点。公園など駅の手前で乗れる ・パーソナルモビリティのネットワークを考える
●オフラインの交流が充実している ・地域交流が活発となるイベントの開催や施設の充実（バザー、フリマ、スポーツ、ゲーム、エンタメ、屋台村など） ●禁止されない自由な遊び場がある ・公園機能が充実し、禁止事項も少なく、様々な施設の充実もあり、体をのびのび動かしている ・小学校の校庭	●マルチ世代交流の場（●1） ・公民館などの料理ができる施設で交流的に「子どもが大好きなメニュー」「おばあちゃんの好物」など、共に使って、「子ども食堂」のような多民族料理体験のような場をたくさんつくる
●気軽に雑談、相談ができる ・自由に出入りできるフリーカフェ的な場があり、色々な相談/雑談相手がいてくれると良い ●自分の得意なコトが発表できる ・自分が得意な事や教えられる事、何か発表やパフォーマンスしたい事を実現させる場の提供を進めたい ・保育園や学校の子供達、親達のニーズに合わせて、健康指導をしている ・スポーツ施設でも年齢に合わせた健康指導やダンスを紹介し、講座も開いて活動している	●オンラインでの実現も可能 ・インターネットの活用で、リモートによる類似サービスの提供は実現可能かも ・川崎市が主体となった行政およびサービスのIT化
●手続きや交流機会が全てIT化されている ・徹底的にIT化された超スマートタウン	

グループのまとめ		
パーソナルモビリティのライドシェア拠点 ・駅の手前でライドシェアに乗れる拠点を公園などに落とし込み、バリアフリーや移動の充実につなげる。パーソナルモビリティのネットワーク化も検討する	地域特化型「情報発信基地」 ・ミニFM、ストリーミングTVなどの楽しい・おいしい・防災・防犯の情報発信基地	「オリエンテッド in 高津」マルチ世代によるスポーツ・カルチャーの交流拠点 ・公共施設を使ったマルチ世代交流 ・興味、趣味のマッチング

■ 2 グループ



意見交換① 地域の魅力的な将来像を考えよう

- 1) 20年後、どんな人がまちにいて、その人がどんな日常を過ごしているのか考えよう（日常の楽しみや困っていることなど）

黄塗りは高津区固有ペルソナ

ペルソナ 1	ペルソナ 2	ペルソナ 3
リハビリ中の中学生 地域の活動（特に子ども会）に加わりたいけど、私のような障害を持った人々も加わりやすい行事は少ない	新社会人 - リモートワークで、通勤先（東京都内）へは週2回通勤 - 高津区内に居酒屋が少なく、老舗又は気色が変わった酒場が欲しい - 高津区で過ごす時間が多いので、公園や図書館、スポーツ施設が身近に欲しい	高津でカフェ経営 - 平日はカフェ経営を行い、休みの日には趣味の雑貨づくりを楽しんでいる。また、ボランティア活動にも参加している（ごみ捨て等） - ハンドメイド雑貨が増えてきており、置き場所に困っているので、実際に手に取って見てもらえる、販売する場所を考えている - 独身の為、将来店の跡継ぎをどうするかを懸念している（店をつぶしたくない）
ペルソナ 4	ペルソナ 5	ペルソナ 6
ダンススタジオ講師 市から頼まれて地域の高齢者対象の「楽々体操」の講師をしている	高齢者（80代） 買い物に行くのに足が弱っているのでバスに乗るけれども無料ならいいのに…	IT 起業家 ワーキングスペースが少ない

・評判がよくってニーズが多いので、本業とのバランスが逆転しそうでちょっと困っている	・趣味が同じサークルに参加したいけど見つからない	① 他の企業経営者との情報交換の場が少ない／IT 企業が集積していない ② 自分の企業内の従業員が集まる場所 {スタートアップ企業向けオフィススペース (ビル等) } が少ない ・アカデミアがない (大学や大学院など)
ペルソナ 7	ペルソナ 8	ペルソナ 9
夫婦二人の世帯 ・運動不足が気になるので、近くのフィットネスジムに通っている ・休みの日には夫婦二人でウォーキング、たまには遠くにも出かけている ・今は車があるから置物に困らないが。そのうち車がなくなったら買い物が心配	大学生 ・大学生なので近所のコンビニエンスストアで朝・夕のアルバイトをしている ・たまに駅前で演奏している ・お金がないのでライブ費用の捻出が難しい	2 人の子どもがいるシングルマザー ・地域の友人が少なく、相談相手が ChatGPT になることが多い ・特に買物はコンビニにはおいていないものを会社帰りに買う時間がない ・出費が増え資金計画が立ちにくい

1 人 3 票で共感できる意見にシール投票 (◎一押しシールの数 ●その他のシールの数)

2) 自分たちの考えた人たちがいきいきと暮らしている 20 年後の地域の将来像を出し合おう	意見交換② 魅力的な将来像を実現するための 公共施設の使い方アイデア
●高齢者向けのサークルやイベントがたくさんあって出かける機会が多い ・高齢者向けの運動サークル (市主催) が沢山あって、多くの参加者が集っている ・高齢者向けのイベント (市主催) が沢山あって出かける機会が増える ・趣味サークルの広がり ・茶語会サークルの広がり ●市がサークル活動などのお知らせをアプリで定期的に配信 ・サークル活動等のお知らせを市から定期的に配信 (アプリのプッシュ通知を使用) ●地域・近隣の人々とのつながりがある ・近接、地域の人々のつながり強化 ・町内会加入率が現在 50%だが、もっと上がっている。もっと多くの人々が町内会に入っていて、防災や防犯にも力を発揮する	●老人向けの施設に限らず、近くにある施設を様々な世代が使う ・一人暮らしの高齢者にとって食の問題は大切。例えば、月に 1 度、施設をつかって食事会のイベントを開く。月に 1 度位なら参加しやすい。お料理好きの方は作る方で活躍してもらう ・徒歩 10 分以内で行ける談話室や趣味のサークル室 (こ文、いこいの家、小学校) (●1) ●民間のデイサービスは経営が大変でよくつぶれている。市の施設をデイサービスに使う ・民間のデイサービスは、場所の確保が重要。市の施設をデイサービスで使ってもらう。いすと机とトイレがあれば、運動主体のデイサービスができる ●学校を使用して高齢者イベントを開催する (●1) ・学校を使用しての高齢者向けのイベントを開催 ・体育館は「楽々体操」などのサークルにどんどん使ってもらう。教える側の人材をたくさん確保できれば良い ・軽体操で、健康寿命をのばす ●外から人を呼ぶことを目的とするのではなく、地域内の親睦を目的としたイベントへの補助 (◎1 ●2) ・地域内の交流活性化に向けた活動 (フェスティバル、スポーツイベント) への補助 (経済、場所)

●住宅地にもスポーツ施設や公園が多い（●1） ・住居に隣接するスポーツ施設や公園が多数完備 ・景観も大切	●農地を市で借り上げて、住宅地にスポーツ施設を提供する ・住宅地に隣接する農地や遊休地を市/区で借り上げて（もしくは購入）、公園やスポーツ施設を提供する
●公共施設で市民のハンドメイド雑貨を販売 ・公共施設を活用した販売場所の提供（場所を格安で提供してくれる）空いている会議施設等を利用したい	
●光ファイバーなどの通信手段のインフラが強固なまち ・光ファイバー/通信手段に優れたインフラの完備	●自動車運転に適した道路やドローン対応の宅配などのインフラ整備 ・宅配インフラ（ドローン対応） ・交通インフラ（自動運転用道路） ●地域インフラを担う企業の誘致（◎1） ・地域インフラ（通信、IT 関連）を担う企業の誘致（税制、人材）
●知識の集まるまちへ（●1） ・高等教育、研究機関が近くにある ・スタートアップ企業の支援として、小規模オフィスの団地がある ・知識集約型の街。高等/専門教育機関が存在。小規模オフィスの団地	●安価な入居費で、スタートアップ企業向け団地（◎1） ・市/区で建設管理するスタートアップ企業向け団地（安価な入居費） ・古めの施設をリノベーションでも OK ・施設の保安全管理はしっかり行い、お年寄りの仕事として活躍の場とする（◎1） ●教育機関の誘致、補助 ・研究/教育機関への行政（公的）補助（税制、土地提供）
	●公共施設でリモートワークしやすくする（●1） ・リモートワークができる場所の充実（民間よりも格安で提供してくれる）
●75 歳以上のバス代を無料に ・75 歳以上のバス無料化 ●子どもの医療費や給食費の無償化（●1） ・子どもの医療費、給食費の無料化	

グループのまとめ		
徒歩で行ける施設を様々な世代が使うようにする（ ・老人がこ文や小学校などを使う。 ・働き世代がリモートワークにも使う	安価な入居費でスタートアップ企業向け団地を ・施設の保全、管理はしっかりする。地域のお年寄りが仕事として活躍できる場にする。 ・小中学校等の施設はきっと余ってくる	地域内の交流イベントに対して公共施設の貸出や補助をする ・地域のつながりづくりや、老人の外出機会の創出で健康寿命をのばす



意見交換① 地域の魅力的な将来像を考えよう

- 1) 20年後、どんな人がまちにいて、その人がどんな日常を過ごしているのか考えよう（日常の楽しみや困っていることなど）

黄塗りは高津区固有ペルソナ

ペルソナ 1	ペルソナ 2	ペルソナ 3
新社会人 ・毎日仕事に追われ、地域活動まで気がまわらない ・高津区内のことがわからず、簡単に知れたら良いなあ～ ・同世代の人とのかかわりが地域の中でできれば良い ・色々なことを考えるヒマがない ・高津のことも知りたい ・知り合いが欲しい	リハビリ中の中学生 ・通学バスに乗り、毎日支援学校に通っている ・回復したら通常の中学校に行きたいが、保護者の支援は必須 ・助けてもらえるケアワーカーがいればなあ ・母の負担を減らしたいのでケアワーカーがいればいいな	東京都内の企業で働く会社員 ・リモートワークする場所がない ・一緒に食事する友だちが近所にいない ・運動不足 ・近所に知り合いが欲しい
ペルソナ 4	ペルソナ 5	ペルソナ 6
ダンススタジオ講師 ・中高年の健康にソーシャルダンスの良さを提案したい ・ただし会場の確保がない ・ソーシャルダンス→健康に良い	高津でカフェ経営 ・自宅介護の方へデリバリーサービスも行っている	合唱サークルで活動している人 ・地域の施設で皆で合唱している ・歌をうたうリーダーを決めてサークルをいっぱい作る ・合唱を地域に広げていきたい

・会場不足「そこそこの広さ」	・ハンドメイドのワークショップを地域の人に開いたり、買い出しスペースもある ・忙しい ・同じようなお店が少ない ・スタッフが少ないなど ・コミュニティカフェ化している ・スタッフが足りない ・同じような地域の居場所がもっとあれば	・歌うことは健康に良い
----------------	--	-------------

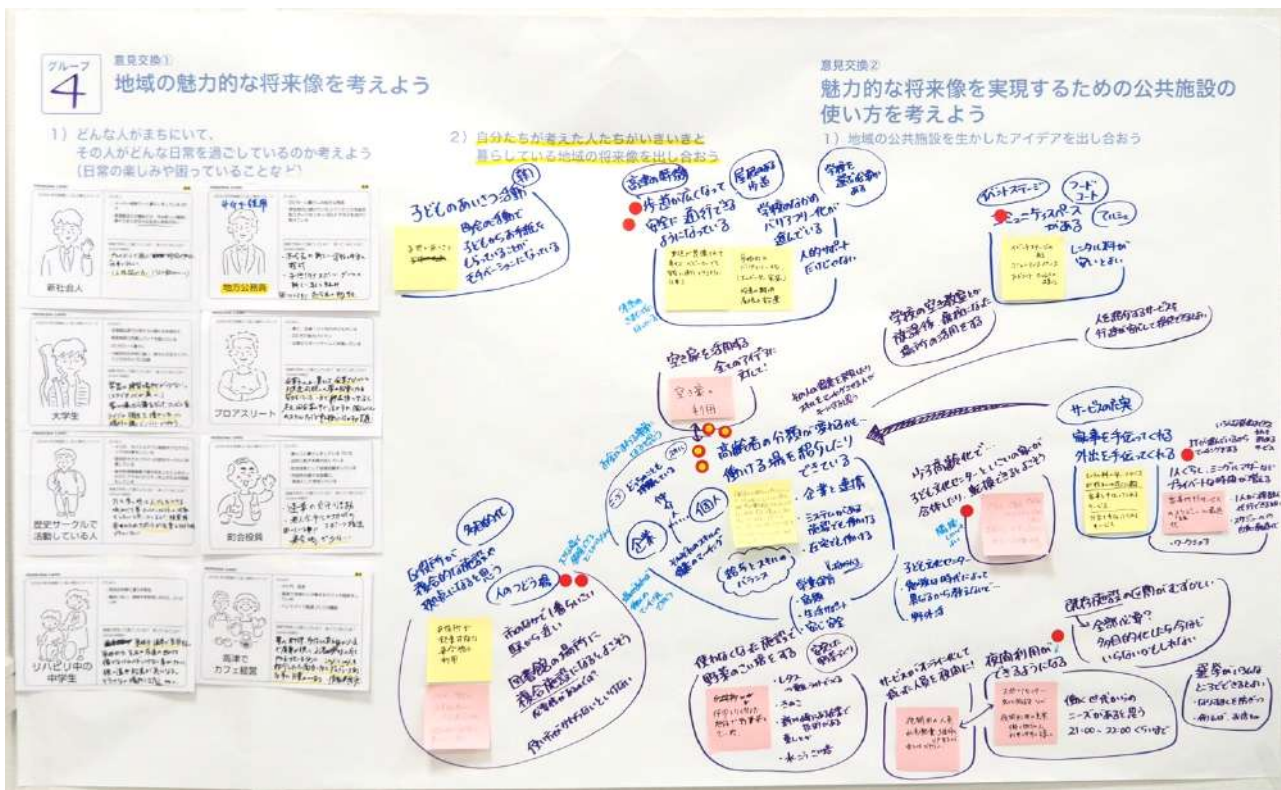
1人3票で共感できる意見にシール投票（◎一押しシールの数 ●その他のシールの数）

2) 自分たちの考えた人たちがいきいきと暮らしている 20 年後の地域の将来像を出し合おう	意見交換② 魅力的な将来像を実現するための 公共施設の使い方アイデア
●子どものケアワーカーもいる地域（●2） ・高齢者施設で働いているケアワーカー（資格のある方）とつながり、支援の必要な子どもにも手を差し伸べてもらえると良い ・高齢者ばかりでなく、子どものケアも必要 ・小学校は再編のターゲットになるけど、子どもへのケアは無くせない大事なサービス	●支援学校と福祉施設が合築してケアの行き届いたまちに ・支援学校、福祉施設が合築して、資格者（ワーカー）に子どもも高齢者も誰でも助けてもらえる ・支援が必要な子どもをケアする仕組み
●喫茶スペースなどの働く世代向けのコミュニティスペースがある（●2） ・喫茶スペースのあるコミュニティスペース（働く人、世代向き、独身世代）があると良い ・土日にふらっと立ち寄れるカフェスペースがあると良い ●学校や企業など、組織同士のつながりで地域の課題を解決していく ・同じ趣味を持つ方に声をかける場所（学校、企業等）を増やす ・保護者や働き世代が集まる場	●みどりの環境豊かな小黒恵子童謡記念館をコミュニティスペースにを使って働き世代が集う場所に ・民間施設から公共施設に。小黒記念館、スペースは小さいがコミュニティスペースには良いかも。緑が多くのか、静か。コワーキングスペースにどうか ●小学校の空きスペースを活用してコミュニティの場にする ・小学校の空きスペース or 使わない時間をコミュニティスペースにする
●平日夜まで利用できるコワーキングスペース（●1） ・平日夜まで利用できるコワーキングスペースがある	●コワーキングスペースとして高津図書館を使う（●1） ・図書館にコワーキングスペース ・すぐに実現できそう
●高津区が推すべきスポーツの中心地として夢パークを多角的な利用ができる施設へ（◎2●1） ・津田山に有る夢パークを多角的な施設に利用したい。例：ダンス、大人用のテーマ別利用できる場に ・運動系の広々スペース（ダンス、合唱、楽器） ・ダンス、合唱、楽器演奏	●夢パークの拡充スペースとして下作延小学校を活用 ・下作延小学校の 20 年後は生徒数の減少が考えられる。夢パーク・下作延小を高津の文化・スポーツの拠点としたら良い ・大きな総合スポーツセンターをつくる ・スポーツセンターを高津スポセンだけでなく、増やしたい（下作延や久地の方はスポーツできるところが少ない）

●高津の地形や歴史を活かしたい ・高津の歴史的な背景がもっと知りたい ●高津を散歩する人が沢山いる地域に ・高津の散歩道を歩く人を増やしたい	●人が集まる施設で映像や AI、ゲームを通じて高津の歴史が楽しくわかる（●1） ・老人福祉センター、図書館など、人の集まる場所に歴史が知れるスペースを作る（ふるさと館と合体） ●大山街道ふるさと館を目指して人が集まる（◎2●1） ・歴史を語り継ぐ公共施設→コミュニティスペース。大人と子どもの棲み分け。放課後も過ごせるスペースで歴史を学べる（◎1●1） ・知っているけど意外とみんな入らない ・学校に出前講座 ・展示だけでなく、子どもが学ぶ場として使う ・20、30 年前はこうだったと語れる、寺子屋的な使い方をすると良い ・ミュージアム的に洗練した雰囲気にする、目指していく場に ・人と出会える、交流できる、滞留できる、泊まれる宿場体験できる
--	--

グループのまとめ		
人と出会ったり交流したり出来る場「ふるさと館」を人が行きたくなる拠点に ・宿場体験、楽しく歴史を学べる交流の場として活用	夢パークを文化・スポーツ・教養の中心拠点にし、近隣小学校とリンクさせ、多世代が活用できるように工夫	図書館を単身者、働き世代が使える、喫茶付きコワーキングスペースに ・図書館を単身者、働き世代が使える、喫茶付きコワーキングスペースに
小規模でも、支援が必要な子どものケアサービスは無くさない ・支援学校と福祉サービスの連携強化によりこどもから大人までケアを行き届かせたい		

■4 グループ



意見交換① 地域の魅力的な将来像を考えよう

- 1) 20年後、どんな人がまちにいて、その人がどんな日常を過ごしているのか考えよう（日常の楽しみや困っていることなど）

黄塗りは高津区固有ペルソナ

ペルソナ 1	ペルソナ 2	ペルソナ 3
新社会人 ・ 仕事で忙しく、プライベートで遊ぶ時間が少ない ・ 1人時間が多い（1人で飲みに行く）	地方公務員 ・ 高齢者の新しい運動の内容の検討 ・ 子ども向けスポーツ・ゲームの新しい取り組み ・ 困っている人としては、高齢者の移動	大学生 ・ 楽器の練習場所が少ない（スタジオ代が高い） ・ 家に帰ったら寝るだけ、コンビニ食 ・ ライブの機会を増やしたい ・ 機材の購入でバイト掛け持ち
ペルソナ 4	ペルソナ 5	ペルソナ 6
プロアマ ・ 企業チームの一員として、企業アピールと子どもたち同胞への夢や目標となる努力をしている ・ 一方で、引退後の生活を考え、同企業の中で活かすが、個人レベルのスキルアップで転職に活かすか苦慮	歴史サークルで活動している人 ・ 外を歩くときは人ゴミを避ける ・ 城めぐり等オンライン以外の活動をしたと思っているが、視覚障害のため、サポートが必要となるためできていない	町会役員 ・ 通学の見守り活動 ・ 老人会中心の地域のスポーツ推進 ・ 困っている事としては、集会場が少ない

ペルソナ 7	ペルソナ 8	
リハビリ中の中学生 ・車いす通学で苦労する ・学校内も先生や友達の助けを借りなければならない事が多い ・狭い道や段差が気になる ・行けない場所が多い（お店 etc）多い	高津でカフェ経営 ・妻の料理、手作りの雑貨が人気で肩身が狭い ・お客の興味に耳を傾けているうちに、この人とこの人を紹介したら面白いなとプロデュース的な事に目覚めつつある ・情報発信源	

1人3票で共感できる意見にシール投票（◎一押しシールの数 ●その他のシールの数）

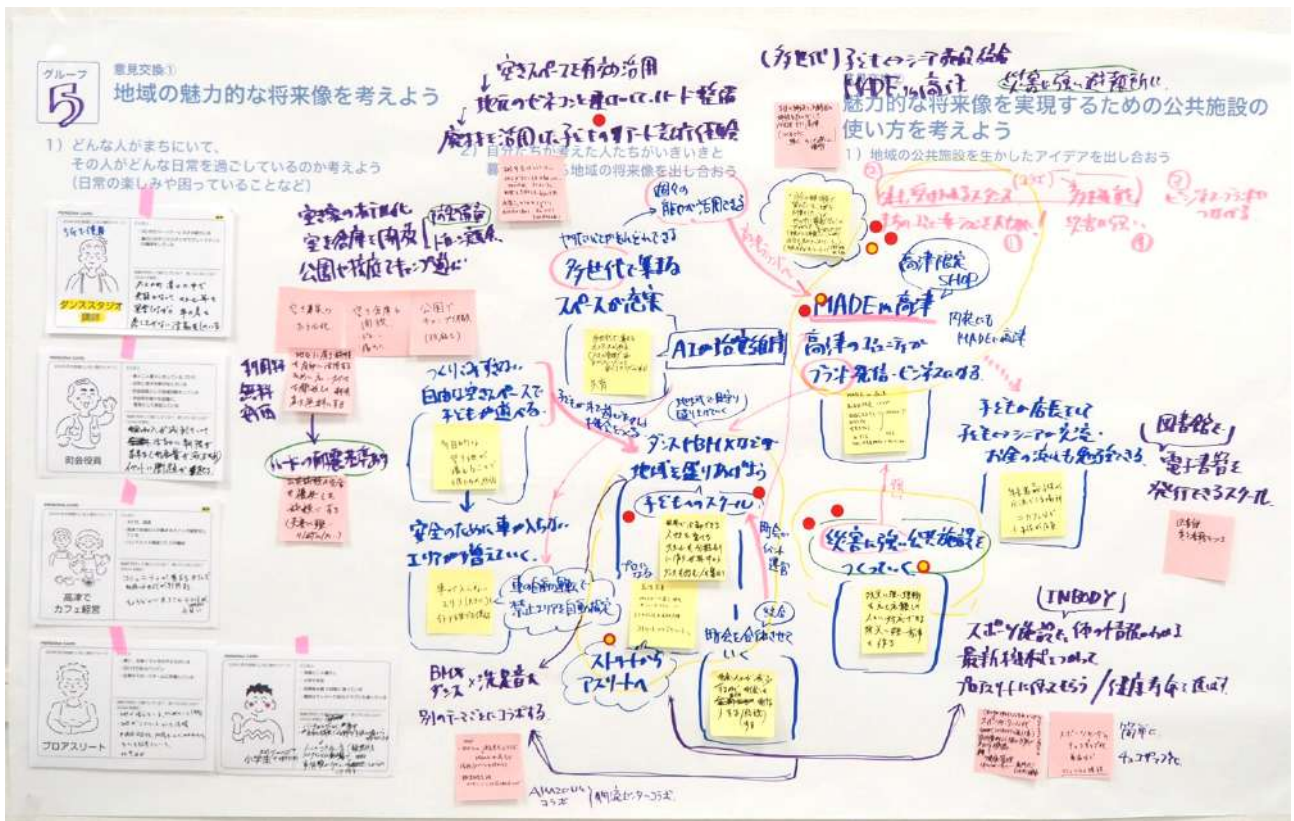
2) 自分たちの考えた人たちがいきいきと暮らしている 20 年後の地域の将来像を出し合おう	意見交換② 魅力的な将来像を実現するための 公共施設の使い方アイデア
●朝の子どもの挨拶活動 ・子どものあいさつ ・町会の活動で、子どもからお手紙をもらっていることがモチベーションになっている	
●歩道が広く、屋根のある歩道になって安全に通行できるようになっている（●2） ・高津の特徴でもあるが、今は歩道が狭い ・歩道が整備されて、車イス、ベビーカーでも安全に通行できるようになる ・外出の妨げになっている ●学校のなかのバリアフリー化が進んでいる ・学校内のバリアフリー化（エレベーター実装）。段差の解消、屋根の設置 ・バリアフリー対応の学校に通う必要があるため、進学の際に、学校を選ぶ必要がある ・人的サポートだけではなく、ハードの整備もあると良い	
●ステージイベントやマルシェなどができる、コミュニティスペースがある（●1） ・イベントステージのあるコミュニティスペース。フードコート、マルシェの様な ・レンタル料が安いと良い ・レンタル料が安いスタジオが住まいの近くにある	●学校の空き教室や放課後、廃校になった場所の活用をする ・廃校？放課後の教室活用
	●様々なアイデアを実現する場として、公共施設だけではなく空き家も活用できると良い（◎1） ・空き家の利用
●高齢者や障がいのある方も働ける場があり、そういった場所を紹介できるサービスもある（◎3） ・高齢者の人口構成比は高くなっているが、元気に働いている人々もあり、単純に高齢、後期高齢者とだ	●人材を紹介するサービスを行政担い、安心して働ける場が用意できるとよい ・その人の得意を発見したり、スキルをマッチングさせる人がキーになると思う ・お金がまわる事業になると思う

け分けられない。各々の職歴、資格、技量にあった働き場の紹介施設が充実している。 ・寿命が伸びていることもあり、高齢者の分類が変わる可能性がある ・長く働けるような場があるとよい ・企業と連携し、働く場を用意する ・システムがあり、施設でも、在宅でも働ける環境 ・モチベーションのためにも、給与とスキルのバランスを取ることが大切 ・学童保育で求められることが増えている（宿題を見る、生活サポート、安心安全など） ・子ども文化センターでは、時代によって勉強の内容が異なるため教えないという方針がある。野外活動などのサポートをすることがある	
●区役所が多目的化し、複合的な施設や拠点になる（●2） ・区役所が飲食可能な集合場に利用 ・人が集う場 ・大きな場で飲食できる場所が少ない ・市のなかで1番小さい区であるが、駅から近い	●図書館がある土地が広いため、区役所機能と統合し、複合施設になると良い ・区役所の複合化。図書館の敷地に大型複合区役所。現跡地は市民館との兼ね合いで検討 ・使い方がわからないといけない ・場があれば働くのマッチングの場にもできると思う
●家事代行や外出補助等のサービスの充実 ・家事を手伝ってくれるサービス ・外出を手伝ってくれるサービス	●家事代行や外出補助等のサービスが充実するとプライベートな時間が増えて生活にゆとりができる（●1） ・1人暮らし、シングルマザーなどのプライベートな時間が増える ・1人が複数人代行できると良い ・スケジュールの自動最適化ができると働く側にも依頼する側も効率が良くなる ・ワークシェアができる ・ITが進んでいるだろうからITを活用して、マッチングをする ・いろんな発信はできる。それをまとめるサービス
	●少子高齢化のため、子ども文化センターと老人いこいの家が統合したり、機能転換できるとよさそう（●1） ・少子化→学童減。学区の見直し、子ども文化センターの見直し＝統合＝高齢化→人口増、施設減。 ・統合が難しい場合には、隣接するだけでも良い
	●使わなくなった施設で野菜の栽培をする ・使用しなくなった施設で野菜栽培 ・安定した野菜づくりができる ・レタスやきのこを電気やライトで栽培する ・新川崎にある企業で技術がある（東レなど） ・水耕栽培
	●行政サービスをオンライン化することで、減った人員を夜間に配置し、スポーツセンターや文化施設の夜間利用を可能にする（●1）

	・スポーツセンター、文化施設などの夜間利用の充実。働く世代の人利用しやすい様に ・21:00~22:00 頃まで活用できると働く世代からのニーズがあると思う ・夜間用の人員、水光熱費維持 UP するので全てはできない ●既存施設の区別がむずかしいため、多目的化すると多くの建物は不要かもしれない ・全部必要？多目的化したら今ほどいらないかもしれない ●選挙がいろいろなところでもできるとよい ・もう少し気軽に選挙へ行けると良い ・なりすましを防ぐ対策が必要 ・例えばお店とかなどで選挙ができると投票率が上がりそう
--	--

グループのまとめ		
高齢者や障害のある方も働けるしくみをつくり、空き家の活用も行う ・障がいのある方の働く場にもなる ・人を紹介するサービス（行政が担う） ・インフラ整備にもなる ・企業と連携し、働く場を創出する ・事業として展開できるのではないか	区役所が複合施設になるとよい ・図書館と統合する ・多目的化をする ・飲食できる場所になるとよい ・人の集う場所になる	歩道が広く、安心して歩けるまち ・車いす、ベビーカーでも歩きやすい ・学校のなかのバリアフリー化が進むとよい ・屋根がある歩道ができると車いすの方も濡れずに歩行できる ・外出したくなるまちになる

■5 グループ



意見交換① 地域の魅力的な将来像を考えよう

- 1) 20年後、どんな人がまちにいて、その人がどんな日常を過ごしているのか考えよう（日常の楽しみや困っていることなど）

黄塗りは高津区固有ペルソナ

ペルソナ 1	ペルソナ 2	ペルソナ 3
ダンススタジオ講師 ダンスのまち溝口の中で先頭になってスクール等を運営しながら年の差を感じさせない活動をしている	町会役員 - 町会加入が減少していて活動に制限ができる（町会費が減るため） - イベントに問題が起こる	高津でカフェ経営 - コミュニティが集まるカフェで多様な世代が利用する - ちょうどいい大きさのテナント（物件）が少ない
ペルソナ 4	ペルソナ 5	
プロアスリート - 世間では子どもの数が減少しているが、家庭では子どもが増える - 子どもがアスリートとして活躍 - 現役引退後、所属チームに関わって、チームを指導している - 政界進出	小学生 - バーチャルゲームに夢中、スマホゲームなどをやりすぎてしまう - 自分の得意な分野を子どものころから吸収している →人との付き合い方に悩んでいる（親世代もコロナなどの影響で実体験が少ないことからの行き詰まり）	

2) 自分たちの考えた人たちがいきいきと暮らしている 20 年後の地域の将来像を出し合おう	意見交換② 魅力的な将来像を実現するための 公共施設の使い方アイデア
●やりたいことがそれぞれできる多世代で集まるスペースが充実しており、AI が管理や治安維持をしている ・多世代で集まるスペースがある（AI の管理で知らない人とも安心してつながれる ・共育 ・AI が治安維持 ・個々の能力が活用できる→高津ブランドへ ・自分の得意で望んでいることを行動したことが、世の中に貢献することにつながっている（誰かの得意で望んでいたことで自分も助けられている）。それぞれがそういうことで報酬がある、自立。	●空き家のホテル化や空き倉庫を開放し、利用者に安価で提供する ・空き家のホテル化 ・空き倉庫の開発。ドローン実験や防災備蓄 ・地元にある施設を有効に活用するために広いスペースを開放して、利用者は無料にする ・利用料無料、安価 ●子ども施設とシニア施設を統合する ・子どもの施設と高齢者の施設をひとつにして。MADE in 高津。つくる時に強く、そして避難場所 ・災害に強い避難所に ●「MADE in 高津」高津のコミュニティがブランド・発信・ビジネスになる（◎2●3） ・MADE in 高津。高津区限定ショップ 学校（洗足音大）、区役所、空きテナント→何処しで。米、野菜。学校、障害者関係で作ったもの ・高津限定 SHOP ・内装にも MADE in 高津 ・外も受け入れるスタンス（コラボ）→多機能 ●子どもが店長として、子どもとシニアが交流。お金の流れも勉強できる ・年長者と子どもが交流できる場所。カフェなど子どもが店員
●つくり込み過ぎない自由な空きスペースで、子どもが遊べる ・多目的な空き地が増えることで子どもたちが自由に遊べる ・子どもが外で遊びたくなる機会をつくる ●安全のために車が入らないエリアが増えていく ・車が入らないエリア（大きく）を作り、誰でも使える ・車の自動運転で、禁止エリアを自動指定	●空きスペースを有効活用。地元のゼネコンと連携してハード整備、廃材を活用した子どものアート芸術体験（●1） ・学校等の空いたスペースに、地元ゼネコン（末永組、北山ハウスなど）に協力依頼 ・耐震を意識した有効活用 ・各施設から集めた廃盤品からのモノづくりで、芸術・感性を磨く
●ダンスや BMX など子どもへのスクールで地域を盛り上げよう（●2） ・世界で活躍できる人材を育てる。スクールを分類別につくり、世界中からダンスを好む人を集める ・地域で見守り、盛り上げていく	●BMX・ダンス×洗足音大 など、別のテーマごとにコラボする ・BMX・ダンスチーム、洗足音大とコラボ+地元の小中高含む ・場所（スペースを埋める） ・職業訓練所。キッズニア=仮）高津区ネーミング

・高津兄弟。プロスポーツ選手誕生、ミュージシャン誕生。音大の施設を有効活用 - ストリート→アスリートへ（◎1）	・Amazon とコラボ、→物流センターコラボ ●スポーツ施設で、身体の情報が見える最新機械を使って、プロアスリートに使ってもらう/健康寿命を延ばす ・世の中が便利になる分、からだをつかう機会が減っている。スポーツセンターなどで（IN BODY の進化系）、筋肉量など身体の状態が見える機器。→健康管理、身体の使い方を専門家に教わる機会 ・簡単に ・スポーツセンターのチョコザップ化 ・美容など、コミュニティ施設
●町会を統合させていく ・町会人口が減少することで町会をまとめ、まちづくりする（統合する）	
●災害に強い公共施設をつくっていく（◎1●3） ・防災に強い建物を広く広報して、人々に対応できる防災に強い高津をつくる	●公共施設の安全を優先した施設にする ・公共施設の安全を優先した施設にする（災害に強い川崎にしたい） ・ハードの耐震基準あり
	●図書館で、電子書籍を発行できるスクール ・図書館電子書籍をつくる

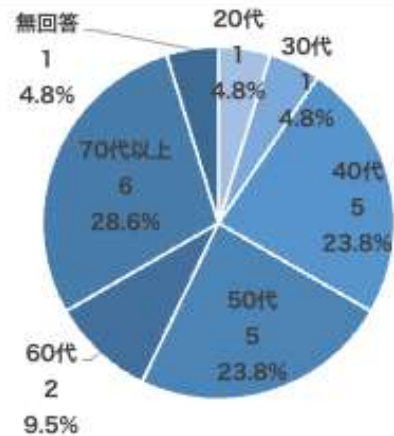
グループのまとめ		
まちの多世代・多属性コミュニケーションを大切にしよう 既存の空きスペース（学校、公園、空き店舗）を有効に活用して、家庭菜園や廃材クラフトなどのリアル体験を通してコミュニケーションが取れるようにする	ダンス・BMX 等の高津で売り出し中のものを中心に、様々なジャンル（音大・部活動など）同士でコラボしながら、子どもたちへの教育、育成を進めて聖地化しよう	MADE in 高津を目指して、コミュニケーションから派生したブランド・情報発信・ビジネスへつなげよう 拠点は多機能で、子どもが運営に関わることができる
すべての基本として「安全」で災害に強い公共施設とまちづくりにする ・普段から通っている場所が避難所になる ・民間のスペースを使う場合は安全を確保できる基準を設ける		

高津区 | ワークショップアンケート結果まとめ

参加者名、回答率 100%

1. あなたの年代に○をつけてください

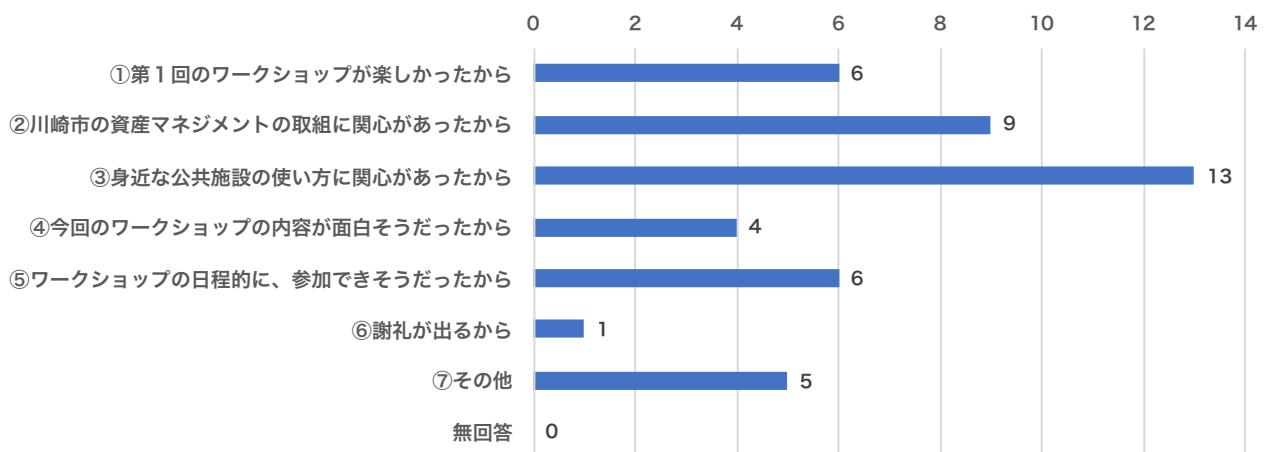
10 代	0	0.0%
20 代	1	4.8%
30 代	1	4.8%
40 代	5	23.8%
50 代	5	23.8%
60 代	2	9.5%
70 代以上	6	28.6%
無回答	1	4.8%
計	21	100.0%



2. 今回のワークショップへの参加を決めた理由は何ですか。(複数回答)

「身近な公共施設の使い方に関心があったから」、「川崎市の資産マネジメントの取組に関心があったから」、「第1回のワークショップが楽しかったから」「ワークショップの日程的に、参加できそうだったから」の順に回答が多かった。

①第1回のワークショップが楽しかったから	6	13.6%
②川崎市の資産マネジメントの取組に関心があったから	9	20.5%
③身近な公共施設の使い方に関心があったから	13	29.5%
④今回のワークショップの内容が面白そうだったから	4	9.1%
⑤ワークショップの日程的に、参加できそうだったから	6	13.6%
⑥謝礼が出るから	1	2.3%
⑦その他	5	11.4%
無回答	0	0.0%
計	44	100.0%



「その他」の記載

- ・ 20年後の高津でしかも既存建物の使い方というテーマですので意見が絞られた。
- ・ 近くの公共施設の夢パークの20年後の再利用に関心がありました。
- ・ 区役所より依頼
- ・ 施設を利用して活動しているので
- ・ まだまだ焦点がはっきりしないが、具体的問題を追求して欲しい。

3. 第2回のワークショップを通じて、モデル地域のことについて理解できましたか？

「とてもそう思う」が5%弱、「そう思う」が85%強と、9割の人が理解できたと回答した。

とてもそう思う	1	4.8%
そう思う	18	85.7%
どちらでもない	2	9.5%
あまり思わない	0	0.0%
全く思わない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	21	100.0%



○をつけた理由をお書きください。

○「とてもそう思う」理由

- ・同じ高津区民の皆様と情報交換、共有ができ、建設的なお話ができた

○「そう思う」理由

- ・自分の住んでいる地域の現状が理解できた。老人が多いとのことで、その通り当てはまっているなど感じた。高津区のモデル地域の分け方についても理解でき、勉強になりました。
- ・区内の全体施設数・内容が不詳だったため規模的な現状と将来への考え方がまとめられなかった
- ・グループ内でディスカッションをする中で、年代や立場からの様々な意見が聞けて、考えが深まったようなように感じられます。
- ・20年後をイメージしてるが不要になるモノ、必要になるモノがイメージできました
- ・高津は多様性のまちの代表だと感じるから
- ・高津区の3地区は広い中にいろいろな条件の違いが良くわかった
- ・公共施設についてほとんど知りませんでした、ワークショップの中で皆さんの話を聞いたことで理解が深まりました。
- ・世界的不安要素が想定しつつも自分の住む地域が人間らしく誇りあるものにしたい未来世代にとっても重要である
- ・高津区の特徴（地形、将来人口統計、人口構成、区民ニーズなど）についての説明を受けたので
- ・同じ高津区民の皆様と情報交換、共有ができ、建設的なお話ができた
- ・知らなかった施設など多く有り今後の参考になりました
- ・理解できました。
- ・本日のディスカッションはモデル地域に特化したものではなく、一般的に（川崎市全域）と理解して議論したように思えます。
- ・行政にだけ頼るのではなく、住民レベルからお互いのニーズとシーズを出し合って住みよいイキイキとした街創りができると思いました。
- ・高津区内のエリア別の説明があったので

○「どちらでもない」理由

- ・各地区の特性は理解できました。地形との関係は
- ・モデル地域に関する検討はしていない

4. 「ペルソナ」を通じ、モデル地域の魅力的な将来像や施設の使い方を考えることができましたか？

「とてもそう思う」が1割超、「そう思う」が7割、「どちらでもない」という回答は3名だった。

とてもそう思う	3	14.3%
そう思う	15	71.4%
どちらでもない	3	14.3%
あまり思わない	0	0.0%
全く思わない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	21	100.0%



○つけた理由をお書きください。

○「とてもそう思う」理由

- ・自分や周りの将来のこと以外であまり考えたことがなかったので、地域の未来を考える体験ができてよかった。具体的に想像できた。
- ・ディスカッションを通じて、自分の想像を超えるアイデアができた。メンバーとまとめて頂いた講師に感謝したい。
- ・ペルソナの特徴（困り事）を常にイメージした

○「そう思う」理由

- ・今も 20 年後だと色々変わっている部分もあると思いますが、悩み事は変わらないと思います。その悩みを公共施設を利用して解決する方法はないか、考える良いきっかけになりました。
- ・モデル地域の身近な施設で具体的に考えることができた
- ・想像していた通り言える
- ・身近な感じのペルソナを選んだので想像しやすかったです
- ・20 年後の自分を想像しながら全体を考えられました
- ・サービス提供には税金を上げられる企業の誘致が必要
- ・20 年後の少子高齢化は現在よりかなり進むと思う。未来に健康で夢が持てる公共施設にして行きたい
- ・年齢が違うことで非常に勉強になった
- ・素晴らしいアイデアを聞いた
- ・より便利によりマルチに使い切っていく必要性あり
- ・活発な勧誘を行い、建設的な意見が集約できたので。
- ・具体的に考える助けになりました。
- ・時間的に全部書けなくて残念でした。
- ・出来た。
- ・既存の設備／施設の活用は「箱」から考えるのではなく、利用する「人の視点」で考えうるのが良いと再認識できた。

○「どちらでもない」理由

- ・ 20 年後を考えるのが少し難しかったです
- ・ 規定に若干無理があるものもあり
- ・ モデル地域の将来像があいまいなままの議論で限界があった。

5.次回に向けたご意見や、本日参加した感想などご自由にお書きください。

○具体的な話ができてよかった、勉強になった

- ・ 前回より具体的に施設の在り方について学習する良い機会となりました。どうもありがとうございました。
- ・ 前回より、さらに具体的な施設のハナシができて勉強になりました。行ったことない施設がたくさんあるので行ってみます!!
- ・ ペルソナを通じて、想像が具体的にすることが出来ました。
- ・ 意見交換を通じ、日頃の気づきを具現化できたように思う。参加者のみなさまが大変熱心でいい議論ができました。今後この議論を施策に反映いただければ。
- ・ 内容はより具体的になってきたので様々な意見が聞け、おもしろかった（一回目はゲームだったので）
- ・ 問題点のしぼり込みが良い結論を出すのではないかと。皆さん真剣にやっていたので素晴らしいと思います。
- ・ 知らなかったものが多数有り、勉強になりました。あっという間の 3 時間でした!!
- ・ 色々役に立つ内容でした。

○アイデアを実行していくことが大切

- ・ 20 年後の高津を創造するところがおもしろかったです。予想もつきませんが…ドラえもん的な何かが実現できるかも…と盛り上がりました。
- ・ 高津区がどうなると魅力的になるか、みんなで意見を出すことができました。あとはこのワークで出たアイデアを実現していけるのかとても気になります。実行が大切だと感じました。
- ・ 今日話し合ったことを他人事ではなく、自分事にそして必ず実行に移していきたいと思います。

○情報交換ができてよかった

- ・ 普段かかわることのない方たちと情報交換できてよかった。区役所でワークショップが増えていくとよいと思う
- ・ 何より、今住んでいるエリアを好きになれる為に前向きな考えや意見を交換できる場は良いと思います。
- ・ 知らない友人が増えた感じになりました。

○日程は余裕を持って周知してほしい

- ・次回日程については、余裕を持って周知してほしい

○**誘導型にならないでほしい**

- ・道標としてプログラムを作成して頂くのは頼もしいですが、誘導型にならないで欲しいと思う

○**マイクが時々切断されるのを直してほしい**

- ・マイクが時々切断されるのを直してほしい

○**再開発をしたらよい**

- ・具体的な再開発を作成したら良いと思う。

○**高津区の未来は明るい**

- ・高津の将来は明るい！